

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3(4)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	酒井 邦秀		
居室	東1-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ
k-sakai@e-one.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>昨年度酒井の授業を取った人を優先します。</p> <p>昨年度の10月から培った多読をさらに伸ばし、夏休み前には何人かがハリー・ポッターを読めるところまで行きたいと思います。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
<p>昨年度の酒井の授業を履修した人を優先しますが、希望者の数によってははじめて取る人も入れます。</p>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
<p>ありません。</p>

<b>【教科書等】</b>
<p>教室で読む本も持って帰って読む本もこちらで用意します。</p> <p>ただし、はじめて履修する人は「読書記録手帳」(500円)を生協で買ってください。</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

以下のように、昨年度の多読クラスと基本的にはおなじですが、音声素材を使う学生も出てくるかもしれません。

授業中はひたすらやさしい英語の本を読んでもらいます。  
他の人の読書を邪魔しないかぎり、何をしてもかまいません。  
寝ていてもいいし、携帯でメールを送っていてもかまいません。  
家で読んでくることも希望者だけです

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(同じ「多読」の授業を開講するハウザーさんのシラバスから引用します。同じ方法で評価します。)

学生は本を借りて持って帰る事が出来ますが、この授業には宿題がありません。小テストも試験もありません。成績は出席で決めます。1回も欠席や遅刻しない学生は、秀(A)をもらえます。1回しか欠席しない学生は、優(B)をもらえます。2-3回欠席する学生は、良(C)をもらえます。4回欠席する学生は、可(D)をもらえます。3回の遅刻は1回の欠席として扱います。(もし、遅刻や欠席の理由があったら、特別の扱いをする可能性があります、学生は私に知らせる責任があります。)

### 【オフィスアワー：授業相談】

随時。  
家に持って帰った本を読み終わって、酒井の研究室に本を取り替えに来たときに、随時読書相談を行います。これまでは毎日3, 4人が来ています。みなさんも気軽にドアをノックしてください。

### 【学生へのメッセージ】

英語はもう嫌いだ、特に英語の授業は受けたくないという人に受講してほしいと思います。英語とのつきあい方が変わります。

### 【その他】

1学期につき1000円を集めて、図書を買います。学期の終わりに好きな本を2冊持って帰ることができます。  
12月または1月にTOEICを受験してスコア・シートを提出してください。提出されない場合は成績がつかないので、注意してください。